

記者ノート

「明日する仕事がない」。東日本大震災の被災地・岩手県陸前高田市の住民の悲痛な声を受け、香川から新しい形態の復興支援策が進んでいる。その名も、岩手さぬぎうどんプロジェクト。

津波による甚大な被害を受けた同市にうどん店を出すことで、現地の雇用を創出しよう

### 復興のうどん店に期待

という県中小企業家同友会の取り組みだ。

10日にプレオープンするうどん店「びっぴ家さぬぎ」には、みんなが集える場所にしたことの思いから店名に

「家」の文字を採用。高松の特産・松と、津波を耐えしのいだ陸前高田市の「奇跡の一本松」にちなんで、鮮やかな緑ののれんを用意した。

「香川がつくって

くれた店が始まり」と語り継がれるほど店が広がっていけば」と同プロジェクトの松田哲也代表。そんな願いを込め、「総本店」と位置付けている。

未曾有の大災害からもうすぐ3年。物資の供給や人的支援だけではない復興支援の在り方に、一石を投じる取り組みになることを期待したい。

(報道部・荻田晃子)